



子どもたちの成長につながる授業の充実

校長 野尻 一裕

10月9日は前期終業式です。早いもので1年の折り返し点に来たことになります。終業式には、子どもたち一人一人に「あゆみ」を渡します。ぜひ、お子さんのこれまでの努力と成長を認め励ましてください。そして、さらに意欲を高めて、後期によいスタートが切れるようお願いいたします。

さて、今年度は残念ながら学芸発表会を行うことができません。例年であれば、劇や音楽などの創作的活動に進んで参加する意欲と表現力を育成すること、練習を通して努力や協力の大切さを実感させ向上心や自主性を培うことをねらいに練習が進む時期です。やっと、教室で鍵盤ハーモニカやリコーダーを演奏することができるようになりましたが、人数や時間の制限付きです。また、保護者の方に見ていただくこともできない状況です。

そのような中、学校では、改めて「授業の充実」について重点的に取り組むことにしています。一つ目は、道徳の授業です。次のようなテーマを持ち、学校全体で道徳の研究を進めています。

研究主題「すてきな自分」「すてきな友達」に気づくことができる児童の育成
～道徳教育における本校の重点的な内容項目（「A：個性の伸長」「B：友情、信頼・相互理解、寛容」）
において、発問・問い返しを工夫することで児童が自分の言葉で語ろうとする授業づくりを通して～

どの学級でも、自分の言葉で語ることを重視した道徳の授業を行っています。

二つ目は算数の授業です。算数は、これまで学習した内容が身に付いていなければ、次に進むことが難しくなる教科です。学習した内容の積み重ねが大切です。そのため、担任以外の先生による少人数指導やTT指導を行っています。また、学習を終えた内容の定着習熟を図る「宿題」も大切にしています。学級担任だけの授業においても、子どもたちが確実に理解できるよう、デジタル教科書等のICT機器の活用、整理された板書にも心掛けています。



どの教科の授業でも、話を最後までしっかりと聞く、自分の考えをはっきりと話す、ていねいにノートを書く、話し合いを通して考えを深めるなど、学習の基本となる部分を大切にしています。日々の授業の中で、子どもたちが認められ、確かな成長につながっていくことができるようにしてまいります。

今後行われる個人懇談は、今年に限り全家庭と行う形となっております。担任と保護者が直接お話できる貴重な機会です。短い時間ですが、子どもたちの成長につながるよう、家庭学習の様子などについてもお話ができればありがたく存じます。お忙しいところ恐縮ですが、どうぞよろしくお願いいたします。